

## メタセコイアはどこまで高くなるの？ —メタセコイア植栽60年—

楡 井 尊

自然の博物館には4本のメタセコイアが植えられています。このメタセコイアは、昭和29年(1954)に秩父自然科学博物館の学芸員だった故永野 巖氏(元埼玉大学教授)により、植えられました<sup>1)</sup>。メタセコイアは生きた化石の代表的なもので、植えられた当時は絶滅が危惧される植物のひとつでした。現在、三角錐状の整った樹形と樹高から遠くからもよく目立ち、当館のシンボルツリーとなっています。



図1. 博物館とメタセコイア。右奥の1本は見えない。

ところで、来館者からときどき「どれくらい大きく(高く)なるの?」と聞かれることがあります。そこで高さを測定することにしました。平成26年11月に長瀬中学校の生徒の職場体験の一環として、ハンドレベルと巻尺を使い、仰角45度の地点をさがして、水平距離を測定し、樹高を計算しました。博物館の西側にある木から順に、28.8m、31.9m、28.9m、28.0mでした。メタセコイアは、今回の測定の10年ほど前<sup>2)</sup>も博物館友の会の会員によって測定されています。その時は26m、25m、23m、23mでした。従ってどの木も3~7mほど成長しています。

メタセコイアはスギの仲間(旧スギ科)で、近縁のセンペルセコイア=コーストレッドウッドは高さ115m、樹齢2,000年以上になること<sup>3)</sup>、ジャイアントセコイアは2,300~2,700年の年齢と推定されているとのことです<sup>4)</sup>。スギの仲間は屋久島の縄文杉のように長命な種類が多いので、千年位は生きるかもしれません。すると植えて60年位のメタセコイアはまだまだ若いといえそうです。博

物館のメタセコイアも成長し、いつか100mを超える日が来るかもしれません。



図2. 中学生による樹高測定の様子。三角関数を使わないで測定できる角度は...

なお、埼玉県下では、深谷市の荒川河床の約960万年前の地層と狭山市の入間川河床の約150万年前の地層などから、メタセコイアの球果化石が見つかります。深谷市平方の荒川河床では根を張った状態のまま化石になった株も発見されています。随伴する化石からメタセコイアの可能性が考えられます。



図3. 荒川河床の樹幹化石。

文献：

- 1) 楡井 尊, 1994. 生きた化石その3—メタセコイア—, 自然史だより(25) : 5-6.
- 2) 四分一平内・中谷美也子, 2003. メタセコイアの身長は?. みんなの自然史(49) : 5.
- 3) Redwood National and State Parks, 2014. Visitor Guide, 12p
- 4) 加藤則芳, 2007. 大きな巨きな木, 月刊たくさんのふしぎ(270) : 42p. 福音館書店, 東京.  
(にれい たかし : 学芸主幹)